

	資料提供
	平成23年9月13日
課名	被爆者支援課 (放射線被曝者医療国際協力推進協議会(HICARE)事務局)
担当者	武内・羽田
内線	3109 直通 228-9901

## 「In cooperation with IAEA 2011 HICARE 国際シンポジウム」

～放射線の人体影響：放射線被ばく者医療の国際的なネットワークの確立に向けて～  
の開催について

### 1 概要

広島原爆被爆者治療と研究実績の経験を生かした、20年間にわたる放射線被曝者医療国際協力推進協議会(HICARE=ヒカア)の国際協力の成果を発信するとともに、昨年8月に、国際原子力機関(IAEA)と取り交わした「放射線被ばく者医療分野の協働に関する覚書」による最初の取組として、国際シンポジウムを開催する。

### 2 開催内容

- (1) 日時 平成23(2011)年11月23日(祝) 12:30～17:30 [一般公開]  
24日(木) 8:50～15:00 [医療関係者のみ]
- (2) 場所 広島国際会議場「ヒマワリ」(広島市中区中島町)(入場無料,日英同時通訳付)
- (3) 内容
- ・ 基調講演 【テーマ】IAEAの取組：科学技術で人類の基本的なニーズを満たす  
【講師】国際原子力機関(IAEA)事務局次長 モハマド・ダウド
  - ・ シンポジウム 【テーマ】被ばく者医療の国際的な取組に向けて  
【パネリスト】(社)広島県医師会長 碓井静照, (財)放射線影響研究所理事長 大久保利晃, 福島県立医科大学教授 安村誠司, (株)中国新聞社客員論説委員 山内雅弥, 広島県知事 湯崎英彦 ※50音順  
【コメンテーター】IAEA事務局次長 モハマド・ダウド  
【コーディネーター】HICARE代表幹事((社)広島市医師会運営・安芸市民病院副院長) 柳田実郎
  - ・ 特別講演 【テーマ】福島第一原子力発電所事故災害に学ぶ：緊急被ばく医療体制の現状と課題  
【講師】広島大学救急医学教授 谷川攻一氏
  - ・ セミナー 【テーマ】放射線の人体影響等 ※詳細は別紙のとおり
- (4) 対象者 ・一般 ・世界各国の放射線被ばく医療関係者
- (5) 主催 HICARE, 広島県
- (6) 共催 国際原子力機関(IAEA), (社)広島県医師会, (社)広島市医師会
- (7) 後援 外務省, 文部科学省, 厚生労働省, 経済産業省, 国際協力機構(JICA), 広島市, 長崎・ヒバクシャ医療国際協力会(NASHIM)

### 3 申込受付

9月20日(火)から開始



In cooperation with 国際原子力機関 (IAEA)

# 2011 HICARE 国際シンポジウム

〈原爆被爆者指定医療機関等医師研究会〉



# 放射線の人体影響

## 放射線被ばく者医療の

## 国際的なネットワークの確立に向けて――

■日本医師会認定産業医(産業医学)基礎研修 (申請中) ■日本医師会生涯教育講座

【日時】2011年 **11月23日**(祝・水) 12:30～17:30(開場12:00)

**11月24日**(木) 8:50～15:00(開場8:20)

【場所】**広島国際会議場 地下2階「ヒマワリ」**  
(広島市中区中島町1-5 平和記念公園内)

**入場料無料・日英同時通訳付**

【内容】**11月23日(祝・水)** どなたでも参加できます

**参加者募集**

※詳細は、裏面を御覧ください

- 基調講演「IAEAの取組：科学技術で人類の基本的なニーズを満たす」  
講師：モハマド・ダウド 国際原子力機関(IAEA)事務局次長  
座長：土肥博雄 HICARE会長(広島赤十字・原爆病院長)
- シンポジウム「被ばく者医療の国際的な取組に向けて」  
パネリスト：碓井静照(社)広島県医師会会長、大久保利晃(財)放射線影響研究所理事長、  
安村誠司 福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座教授、山内雅弥(株)中国新聞社客員論説委員、  
湯崎英彦 広島県知事(50音順、敬称略)  
コメンテーター：モハマド・ダウド 国際原子力機関(IAEA)事務局次長  
コーディネーター：柳田実郎 HICARE代表幹事((社)広島市医師会運営・安芸市民病院副院長、(社)広島県医師会常任理事)
- 特別講演「福島第一原子力発電所事故災害に学ぶ：緊急被ばく医療体制の現状と課題」  
講師：谷川攻一 広島大学救急医学教授  
座長：佐々木英夫 HICARE幹事((財)広島原爆障害対策協議会 健康管理・増進センター所長)

**11月24日(木)** 医療関係者に限ります

- セミナー I～IV, 総括セミナー 詳しくは裏面をご覧ください

主催／放射線被曝者医療国際協力推進協議会(HICARE)、広島県

共催／国際原子力機関(IAEA)

(社)広島県医師会、(社)広島市医師会

後援／外務省、文部科学省、厚生労働省、経済産業省、国際協力機構(JICA)、

広島市、長崎・ヒバクシャ医療国際協力会(NASHIM)

### INFORMATION

## 放射線被曝者医療国際協力推進協議会事務局

HICARE (Hiroshima International Council for Health Care of the Radiation-Exposed)

〒730-8511 広島市中区基町10-52 県庁本館6階 広島県被爆者支援課内

TEL (082)228-9901 FAX (082)228-3277

URL <http://www.hicare.jp/> E-mail [hicare3@hicare.jp](mailto:hicare3@hicare.jp)



2011 HICARE 国際シンポジウム〈原爆被爆者指定医療機関等医師研究会〉

放射線の人体影響 放射線被ばく者医療の国際的なネットワークの確立に向けて—

第1日目 11月23日(祝・水)		第2日目 11月24日(木)	
12:30~12:55	開会挨拶	8:50~9:00	レビュー
12:55~13:05	来賓挨拶	9:00~9:40	講演 「原爆被爆者援護行政について」 講師:厚生労働省健康局総務課 高城亮
13:05~13:55	基調講演 「IAEAの取組:科学技術で 人類の基本的なニーズを満たす」 講師:IAEA事務局長 モハマド・ダウド 座長:HICARE会長 土肥博雄	9:40~10:30	セミナーⅠ 「被爆者健康管理の意義, 課題と今後の方策」 講師:(財)広島原爆障害対策協議会 健康管理・増進センター所長 佐々木英夫
13:55~14:10	休憩	10:30~10:40	休憩
14:10~15:40	シンポジウム 「被ばく者医療の国際的な取組に向けて」 コーディネーター:HICARE 代表幹事 柳田実郎	10:40~11:30	セミナーⅡ 「NASHIMの活動:これまでとこれから」 講師:長崎大学医歯薬学総合研究科 高村昇
15:40~15:50	休憩	11:30~12:20	セミナーⅢ (KIRAMS) 「韓国における緊急被ばく医療の現状と強化策」 講師:韓国原子力医科学院 (KIRAMS)・ 国立緊急被ばくセンター長 リ・ソンスク
15:50~16:20	HICARE 研修生による発表	12:20~13:10	昼食
16:20~17:20	特別講演 「福島第一原子力発電所事故災害に学ぶ: 緊急被ばく医療体制の現状と課題」 講師:広島大学救急医学教授 谷川攻一 座長:HICARE幹事 佐々木英夫	13:10~14:00	セミナーⅣ (1単位) 「福島第一原子力発電所事故と低線量放射線の人体影響」 講師:広島大学原爆放射線医学研究所 所長 神谷研二
17:20~17:30	閉会挨拶	14:00~14:50	総括セミナー (1単位) 「原爆放射線の人体影響」 講師:(財)放射線影響研究所 主席研究員 児玉和紀
		14:50~15:00	閉会挨拶

注1:( )内の数字は,日本医師会認定産業医(産業医学)基礎研修の単位数 注2:全日程が日本医師会生涯学習講座の対象(単位数:4.5単位)

参加者募集

入場無料

■定員になり次第、  
締切とさせていただきます

■一般の方

11月23日のみ一般公開講座として、参加者を募集します。  
参加希望の方は、下記参加申込書にご記入の上、FAX、E-mail  
もしくはHICAREホームページ内専用フォームにてお申込ください。

■医療関係者  
の方

11月23日24日両日とも参加者を募集します。  
参加希望の方は、HICAREホームページ内専用フォームよりお申込みください。

ホームページURL <http://www.hicare.jp/> HICARE 検索

キリトリ

お問い合わせ  
お申し込み

放射線被曝者医療国際協力推進協議会事務局

HICARE (Hiroshima International Council for Health Care of the Radiation-Exposed)

FAX (082) 228-3277 E-mail [hicare3@hicare.jp](mailto:hicare3@hicare.jp)

URL <http://www.hicare.jp/>

ふりがな		ご職業	
お名前		電話番号	( ) -
ご住所	〒 -		

※ご記入いただく個人情報については、本シンポジウム募集に関して、申し込み内容の確認などでのみ利用いたします。※入場券等発行いたしません。当日受付にて、お名前をお伺いします。



ダウド モハマド

## **Daud Mohamad, Ph.D.**

**Deputy Director General and Head of Department of Nuclear Science and Applications,  
IAEA 国際原子力機関 (IAEA) 事務局次長、原子力科学・応用局長**

**家族**：妻、子6人

**学歴** マレーシア・ケバングサーン (Kebangsaan) 大学 (学士)  
カナダ・マクマスター (McMaster) 大学 (修士)  
英・グラスゴー/スコティッシュ大学 (博士；高度放射性廃棄物処理について)

**1978年 (昭和53年)** マレーシア原子力委員会 (Nuclear Malaysia) 創設メンバーの一人として加入

**2004年 (平成16年) 9月～2010年 (平成22年) 12月** マレーシア原子力委員会委員長

**2001年 (平成13年)～2010年 (平成22年)** IAEA放射線防護と安全処理についての研修・教育に関する運営委員会メンバー

**2008年 (平成20年)～2010年 (平成22年)** IAEA原子力の応用に関する常任諮問グループ (SAGNA) メンバー

→ IAEA加盟国における原子力機関の自立・持続の専門家ミッションを編成し、アジア太平洋諸国を多数訪問。

**2011年 (平成23年) 1月～** 現職

マレーシア放射線防御学会 (MARPA) 会長、マレーシア科学研究学会 (MARS) 会長